

市民公開講座

三陸サケの復興
を願って

さーもん・かふえ2017

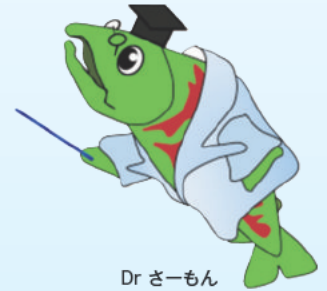
6th Salmon Café

と き：2017年6月14日(水) 13時30分～6月15日(木) 11時

ばしよ：エスポワールいわて

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通1丁目1-38

<http://espoir-iwate.com/>



Dr さーもん

6月14日 13時30分～17時

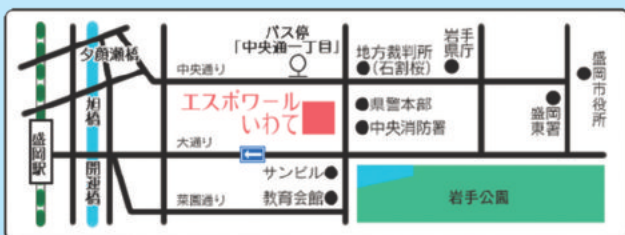
とびつく・せつしょん(仮題)

- 浦和 茂彦 (北水研) 「北太平洋におけるサケマス類の資源状況と国際サーモン年紹介」
- 宮腰 靖之 (道総研さけます内水試) 「最近の北海道のサケの資源動向」
- 松谷 紀明 (青森県内水面研究所) 「青森県におけるサケの来遊状況と閉鎖循環型サケ卵管理システムの可能性」
- 太田 克彦 (岩手水技セ) 「岩手県におけるサケ資源の動向とサケ稚魚餌料比較試験について」
- 白石 一成 (宮城県) 「宮城県におけるサケの回帰状況」
- 塚越 英晴 (岩手大) 「三陸岩手のサクラマスの遺伝特性」
- 清水 幾太郎 (北水研) 「サケマス類の国際市場価値と日本産サケの商品戦略」
- 青山 潤 (東大大気海洋研) 「南限のサケ研究」
- 帰山 雅秀 (北大) 「2016年のサケ来遊を振り返って」

6月15日 9時～11時

何でも「ハナスベー」

- Dr さーもん問答集かい?—あなたが主役
田老町漁協技術紹介、鳥による捕食、食とサケ、サケと文化……
(コーディネイター：青山潤・帰山雅秀)



JR盛岡駅東口より、①岩手県交通バス「盛岡バスセンター行」(6番乗車)「中央通一丁目」下車、徒歩1分、②タクシーで5分
東北自動車道、盛岡ICよりJR盛岡駅・県庁方面へ車で15分

主催：「さーもん・かふえ」実行委員会
後援：(一社)岩手県さけ・ます増殖協会

*この催しは「東北マリンサイエンス拠点形成事業」により開催しています。

市民公開講座

三陸サケの復
興を願って



さーもん・かふえ 2017

The 6th Salmon Café

日 時:平成 29 年 6 月 14 日(水)13:30~15 日(木)11:00

場 所:エスポワールいわて

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通り 1-1-38

TEL: 019-623-6251, <http://www8.ocn.ne.jp/~espoir>

主催:「さーもん・かふえ」実行委員会

後援:(一社)岩手県さけ・ます増殖協会

開催趣旨

「さーもん・かふえ」は「東北マリンサイエンス拠点形成事業」の一環として行われており、「東北地方の水産業の基幹産業であるサケ資源の回復と持続可能な利用並びにサケ増殖体制の確立を図ること」を目標としています。その目標と「三陸の水産が元気になれば、日本の水産はダメになる」という思いから、私たちの次の世代が安心してこの三陸の地に住み、生活基盤として漁業の営みを続けて行けるような社会をめざしたい。すなわち、三陸沿岸における持続可能なサケ資源と社会の構築をはかることを大きな目的としております。そのような考えから、この「さーもん・かふえ」では、三陸サケの情報ネットワークとしての役割を果たしていきたいと考えております。

- 1) これまでサケづくりで悩んできた皆さんの「問題点」を共有化し、ともに解決していく場を提供します。
- 2) サケを取りまく情報(e.g., 温暖化, 気候レジームシフト)を発信します。
- 3) サケに関する皆さんの憩いの場, 相談の「場」をめざします。

プログラム

6月14日(水) トピック・セッション

13:30 開会挨拶

煙山 彰 (岩手県水産技術センター所長)

13:40 「北太平洋におけるサケマス類の資源状況と国際サーモン年紹介」

浦和 茂彦 (水産機構北海道区水産研究所)

14:00 「最近の北海道のサケの資源動向」

宮腰 靖之 (道総研さけます内水面水産試験場)

14:20 「青森県におけるサケの来遊状況と閉鎖循環型サケ卵管理システムの可能性」

松谷 紀明(青森県内水面研究所)

14:40 「岩手県におけるサケ資源の動向とサケ稚魚餌料比較試験」

太田 克彦 (岩手県水産技術センター)

15:00

<休憩>

15:20 「宮城県におけるサケの回帰状況」

白石 一成 (宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場)

15:40 「三陸岩手のサクラマスの遺伝特性」

塚越 英晴 (岩手大学三陸水産研究センター)

16:00 「サケマス類の国際市場価値と日本産サケの商品戦略」

清水 幾太郎 (水産機構北海道区水産研究所)

16:20 「南限のサケ研究」

青山 潤 (東京大学大気海洋研究所)

16:40 「2016年のサケ来遊を振り返って」

帰山 雅秀 (北海道大学国際連携機構)

17:00 閉会挨拶

兵藤 晋 (東京大学大気海洋研究所)

6月15日(木) ディスカッション「何でもハナスベー」

9:00 意見交換と話題提供

(コーディネイター)

太田 克彦 (岩手県水産技術センター)

青山 潤 (東京大学大気海洋研究所)

帰山 雅秀 (北海道大学国際連携機構)

伊藤 元裕(東洋大学生命科学部)

「鳥による捕食」

袁 春紅 (岩手大学)

「サケの食品加工への取り組み」

峰岸 有紀(東京大学大気海洋研究所)

「eDNA による大槌湾サケ研究」

畠山 昌彦(田老町漁業協同組合)

「さけ種卵が不足する中どう稚魚を確保するか」

帰山 雅秀・青山 潤・太田 克彦

「今後のさーもん・かふえ」

その他、サケの食と文化、など

11:00 閉会